

# 町長の政策と予算編成を問う

## 住民の要望を施策に反映させる



中倉 毅 議員

### 中倉毅議員

町長は3期目を迎えたが、町民の目線から見た場合、これという目玉がない。3期目は何をしようとしているのか。

### 住民が安全、安心できる地域づくり

#### 町長

3期目の重要政策は特に具体的には、大崎救急分駐所の設置、乳幼児医療費の無料化、町有地の宅地分譲化、スポーツ観光等である。これらをさらに推

進するため、「まちづくり委員会」を設置し、「みんなでつくるうら大崎」をスローガンに住

民が安全で安心できる大崎の地域づくりに取り組んでいく。

### 予算編成の方針は何か

#### 中倉毅議員

新年度予算編成の時期にきている。予算は本来、町民の福祉向上のために編成されるべきである。予算重点化、事務事業の見直し、費用対効果、弱者救済、財源の確保等が重要な視点と思うが、どのように考えているか。

### 歳入歳出の徹底した見直しをする

#### 町長

本町の基本理念である「人・もの・自然、調和が奏でる躍動のまち」の実現に向けた各種施策の推進と共に、歳入歳出両面にわたる徹底した見直しや新たな歳入確保策の検討を行う。また、各課においては、住民の要望を施策に反映させたい。特に前例踏襲や現状維持という発想をやめ、

スクラップアンドビルド型の予算編成をした

### 編成作業の手法をどうするのか

#### 中倉毅議員

### 住民の要望を各課で把握する

#### 町長

当初予算には、政策的予算と義務的予算等があるが、特に政策的予算の編成作業については、多くの町民からの要望もあると思う。どのような手法でしていくのか。

編成作業は、各課ごとに住民からの要望を的確に把握し、施策に反映させるために必要な経費等を積上げた予算要求書を作成し、担当課長に精査を行った

あと、財政担当課へ提出し、年明けから副町長、財政担当課長を含めて予算査定を行っている。予算査定では、各施策の内容、目的等について各課から説明を受け、施策の目的、財源、優先順位等の観点から査定を実施している。そのあと、副町長と財政担当課長の査

### 職員のやる気をどうするのか

#### 中倉毅議員

職員の仕事のやる気はまず予算だと思う。行政にたずさわる職員が町民のためにどれだけ

の予算、事務量があるかでやる気は変わってくると思う。仕事はまず、計画を立て、それを実行し、その結果がどうであったか、町民にとって良かったのか、悪かったのか反省

評価する。そして次年度へフィードバックして改善、見直しをする。このシステムを実行する事が重要であると思うが町長はどう考えるか。

### 仕事に自信と誇りが必要

#### 町長

行政の仕事に対して真摯に向き合い、自信と誇りを持って業務を遂行する姿勢が必要である。住民が何を求めているかを的確にとらえ、それを政策に反映させ、事業を構築していく能力が必要と思う。



予算査定

※スクラップアンドビルド型とは、老朽化したり陳腐化したりして物理的または機能的に古くなった設備を廃棄し、高性能の新鋭設備に置き換えること。